



多くの人達でにぎわう
新生サンクチュアリセンター

リニューアルオープンから1ヶ月がたちました！

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターがリニューアルオープンして1ヶ月がたちましたが、これまで1万人を超える多くの方が訪れています。



今、ここにいま〜す！



ハクチョウさんこんにちは



テナガエビみーつけた！



伊豆沼には大きな貝がいるんだよ！



沼一面を覆うハスにビックリ！！



鳥の不思議がよく分かる！

財団の公式シンボルマークが決定しました！

伊豆沼・内沼のラムサール条約湿地の登録30周年と当財団の公益財団法人への移行を機に、シンボルマークを募集したところ、全国から19点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、登米市の畠山美咲さんの作品が最優秀賞に決定しました。

シンボルマークは、伊豆沼・内沼の代名詞でもあるハクチョウを簡略化して描くことで、身近に感じられるようにしました。また、ペールは自然を保護するためには一人一人が少しずつでも行動することが重要との思いを込めています。



▶ 公式シンボルマーク

伊豆沼・内沼自然体験講座を開催しました



大物ゲットしました！



標本作りに挑戦！



自分だけの標本が出来ました！

7月20日(月)および8月8日(土)に、第2・3回伊豆沼・内沼自然体験講座「昆虫採集と標本作り」を開催しました。合計17人の小学生が参加し、午前中は内沼周辺でチョウやトンボを採集しました。午後は栗原市サンクチュアリセンターつきだて館(昆虫館)で、採集した昆虫の標本を作りました。プロの道具を使って、美しくカッコイイ昆虫の標本を作ることができました。

20年ぶりに見つかったゼニタナゴ



確認されたゼニタナゴ



センターの水槽で実物のゼニタナゴやテナガエビを見ることができます。

当財団で定期的に行っている魚類調査で、貴重な魚が再確認されました。ゼニタナゴと呼ばれる小型魚で、今では世界で約10箇所にしか生息していない希少種です。かつては沼の定置網で毎年何トンも獲れていた魚ですが、90年代のブラックバス(オオクチバス)の食害によって沼から姿を消していました。

長年続けてきたバス・バスターズの活動により、沼ではオオクチバスが減少し、テナガエビなど沼の生き物が復活しつつあります。しかし、外来魚の影響を受けやすい希少種の復活は遅れていました。

今回確認されたゼニタナゴはまだ2個体。本格的な回復はまだ先ですが、ゼニタナゴのような希少種が回復してくれば、沼の自然再生はまた新たな段階に入りそうです。継続的な自然保護活動が大切です。

伊豆沼・内沼生き物図鑑

チュウサギ *Ardea intermedia*



チュウサギは、夏に渡ってくる夏鳥です。伊豆沼では、ハスの葉の上立って獲物を狙っている姿を見ることができます。一般的に呼ばれている「シラサギ」とは、全身が白いサギの総称でチュウサギの他、ダイサギやコサギなどがいます。

お知らせ

休館のお知らせ

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター及び栗原市サンクチュアリセンターつきだて館は、館内燻蒸消毒のため下記期間休館させていただきます。

期 間: 平成27年9月8日(火)～9月10日(木)

〈事務局〉
(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217
E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://izunuma.org/>